

## 令和5年4月教職員人事異動について

香川県教育委員会

### 1. 異動者数

区 分	令和5年4月	令和4年4月	前年比較
小 学 校	1, 0 6 8人	1, 1 3 4人	△66人
中 学 校	6 5 3人	7 1 4人	△61人
県立学校	6 5 8人	6 2 5人	33人
事 務 局	2 1 9人	1 7 9人	40人
計	2, 5 9 8人	2, 6 5 2人	△54人

#### 退職者 403人 (昨年 424人)

校長 54人 <内訳 小中 43人、 県立 11人>  
 教頭 22人 <内訳 小中 13人、 県立 9人>  
 教諭等 304人 <内訳 小中 203人、 県立101人>  
 事務等 23人 <内訳 小中 5人、 県立 6人、 事務局 12人>

#### 新規採用者 274人 (昨年 274人)

教諭等 259人 <内訳 小中 207人、 県立 52人>  
 事務等 15人 <内訳 小中 6人、 県立 4人、 事務局 5人>

### 学校関係

#### (1) 学校数

区 分	令和5年4月	令和4年4月	前年比較
小 学 校	1 5 8校	1 5 7校	1校
中 学 校	6 7校	6 6校	1校
県立学校	3 9校	3 8校	1校
計	2 6 4校	2 6 1校	3校

※県立学校には、高松北中学校を含む。

(参考)

小・中・県立学校の統合等の状況

区分	学 校 名
新設	小豆島みんなの支援学校
新設	高松市立下笠居小学校五色台分校
新設	高松市立下笠居中学校五色台分校

小・中・県立学校の休校等の状況

区分	学 校 名
休校	高松市立女木小学校（継続）
	高松市立東植田小学校菅沢分校（継続）
	高松市立庵治第二小学校（継続）
	丸亀市立広島小学校（継続）
	丸亀市立小手島小学校（継続）
	坂出市立岩黒小学校（継続）
	丸亀市立広島中学校（継続）
	坂出市立岩黒中学校（継続）
丸亀市立小手島中学校（新規）	
復校	—

(2) 管理職等の登用

管理職等に、優れたマネジメント能力や柔軟な発想、リーダーシップを有する意欲ある人材を登用し、各学校の教育力の向上を図るための人事配置を行う。

小中学校では、昨年より33人少ない130人を登用する。

県立学校では、昨年より7人多い38人を登用する。

### 管理職等の内訳

区分	学校種	登用・退職	令和5年4月	令和4年4月	前年比較
校長	小中学校	登用	47人	56人	△9人
		退職	43人	57人	△14人
	県立学校	登用	12人	10人	2人
		退職	11人	9人	2人
副校長	小中学校	登用	1人	1人	増減なし
		退職	0人	0人	増減なし
	県立学校	登用	0人	0人	増減なし
		退職	0人	0人	増減なし
教頭	小中学校	登用	62人	76人	△14人
		退職	13人	22人	△9人
	県立学校	登用	21人	18人	3人
		退職	9人	6人	3人
主幹教諭	小中学校	登用	14人	13人	1人
		退職	0人	2人	△2人
	県立学校	登用	5人	3人	2人
		退職	0人	0人	増減なし
指導教諭	小中学校	登用	6人	17人	△11人
		退職	5人	11人	△6人
	県立学校	登用	0人	0人	増減なし
		退職	0人	1人	△1人
計	小中学校	登用	130人	163人	△33人
		退職	61人	92人	△31人
	県立学校	登用	38人	31人	7人
		退職	20人	16人	4人

### 女性管理職の内訳

区分	学校種	令和5年4月	令和4年4月	前年比較
校長	小中学校	51人	38人	13人
	県立学校	6人	5人	1人
副校長・教頭	小中学校	114人	108人	6人
	県立学校	13人	14人	△1人
計	小中学校	165人	146人	19人
	県立学校	19人	19人	増減なし

### 女性管理職の割合(小中学校・県立学校)

	女性管理職			管理職全体			女性管理職割合
	校長	副校長・教頭	計	校長	副校長・教頭	計	
令和5年4月	57	127	184	245	380	625	29.4%
令和4年4月	43	122	165	245	380	625	26.4%

### (3) 交流人事

① 公立小中学校における教育水準の維持向上や教員としての視野を広げ、資質能力の向上を図る観点から、管理職を含めた教職員の小中間異動や国・県立学校との人事交流を行う。

- ・小学校と中学校間異動者 53人(昨年 39人)
- ・県立学校との交流者 9人(昨年 2人)
- ・香川大学附属学校との交流者 31人(昨年 31人)
- ・香川大学教育学部との交流者 2人(昨年 2人)
- ・県外との交流者 0人(昨年 4人)

② 県立学校における教育水準の維持向上や教職員としての視野を広げ、資質能力の向上を図る観点から、県立学校の校種間異動や県立学校と国市町立学校との人事交流を行う。

- ・県立高等学校と県立特別支援学校間異動者 17人(昨年 29人)
- ・香川大学附属特別支援学校との交流者 8人(昨年 5人)
- ・高松第一高等学校との交流者 4人(昨年 13人)
- ・公立小中学校との交流者 9人(昨年 2人) 【再掲】  
(特別支援学校と小豆地域小中学校を含む)

### (4) 特別支援教育の推進

通級指導教室については、平成5年度に言語障害・難聴を対象とした設置が開始され、平成18年度から、通級による指導の対象者にLD・ADHDが加えられたことで、本県においても、その必要性を踏まえ、発達障害を対象とする通級指導教室の計画的な設置に努めている。

令和5年度は、通級指導教室を小学校4校、中学校2校が新たに設置される予定であり、設置校の数は6校増えて46校になる予定である。また、小学校1校で教員1名増員する。

## 3. 事務局等関係

### (1) 教育情報化推進室の設置について

公立学校におけるICTを活用した教育の推進や教員のICT活用能力の育成など、教育の情報化を推進するため、義務教育課の課内室として、教育情報化推進室を設置する。

### (2) 全国高校総合文化祭推進室の設置について

令和7年度に香川県で開催予定の全国高等学校総合文化祭の開催準備を円滑に進めるため、生涯学習・文化財課の課内室として、全国高校総合文化祭推進室を設置する。